





## メッセージアウトライン

日付	2013年6月16日
単元	創世記・1
テーマ	創り主の愛
タイトル	大切なあなた
テキスト	創世記1:26～31、2:4～7
参照箇所	エペソ2:10、イザヤ43:1～7、44:24、使徒17:24～26
暗唱聖句	イザヤ43:7

<b>導入</b>	ここに、2つの作品があります。ひとつは誰か他の人が作った立派で美しい彫刻の作品で、もうひとつは、あまり上手ではありませんが、私が心をこめて一生懸命つくった粘土細工です。私にとってどちらが大切だと思いますか？	
<b>I</b>	<b>神さまは人間を造られました</b> A. 神さまは、まず人間に必要なすべての環境を整えました B. 神さまは、人を土のちりで形造られ、いのちの息を吹き込まれました C. 神さまは、偶然ではなく、注意深く・計画的に造られたのです	
<b>II</b>	<b>人間はご自身のかたちに似るようにつくられました</b> A. 人間は、神さまに似るように、創造されました B. 人間は、神さまと交わりができるようにつくられました C. 人間は、神さまを愛してみこころを行うようにつくられたのです	
<b>III</b>	<b>あなたは神さまにとって大切なのです</b> A. あなたは神さまに造られた作品です B. あなたの人生に意味や目的を持っておられます C. あなたは神様にとって、とっても大切です	
<b>結論</b>	<b>神さまが造ったから、あなたの人生は尊いのです</b>	
<b>適用</b>	神さまがあなたを造り、とっても大切と思っているのだから、人と自分を比べるの必要はありません。また、同じように、神さまはあなたの友だちや家族みんなを造り、愛しているのです。私たちの目で見ると、自分だけちっぽけに見えたり、他の人の人生の方がカッコよくみえたり、不公平に見えたりもしますが、みんな神さまにとって大切な存在なのです。ひとりひとりが、神さまの愛に応じて、造られた目的のとおり生きましょう。神さまのみこころを行ない、神さまのすばらしさを表す人になりましょう。	
<b>備考</b>		